

大腸癌肝転移プロジェクト委員会議事録 N0.8

2013. 01.17

<活動報告>

1. 2012年4月の大腸癌研究会倫理委員会において、データベース運用のための研究計画書が承認されたことを日本肝胆膵外科学会に報告した。
2. 2012年12月全国大腸癌肝転移データベース委員会事務局であるがん・感染症センター 都立駒込病院倫理委員会、データベース運用について承認された。
3. 2013年1月に全国肝転移データベース委員会を組織する。
4. 2013年1月からデータベースの登録事業を開始する。
5. 第1回合同研究会を2013年5月または7月に開催する。
6. 2007年の1304例の大腸癌肝転移のデータを再度分析した。
Grade 分類を超える分類が可能であるか、検討し、その妥当性が認められた。データの欠損値が多く、予後解析のために項目を絞って再度データを集積し、データのブラッシュアップを行う。
7. 全国大腸癌肝転移データベース委員会を組織する。
8. データベース登録事業を開始する。
9. 2年に1回データの集積の報告、年に1回合同研究会を開催する。

10. 2007年の1304例で解析可能な932例でのGrade分類と予後

